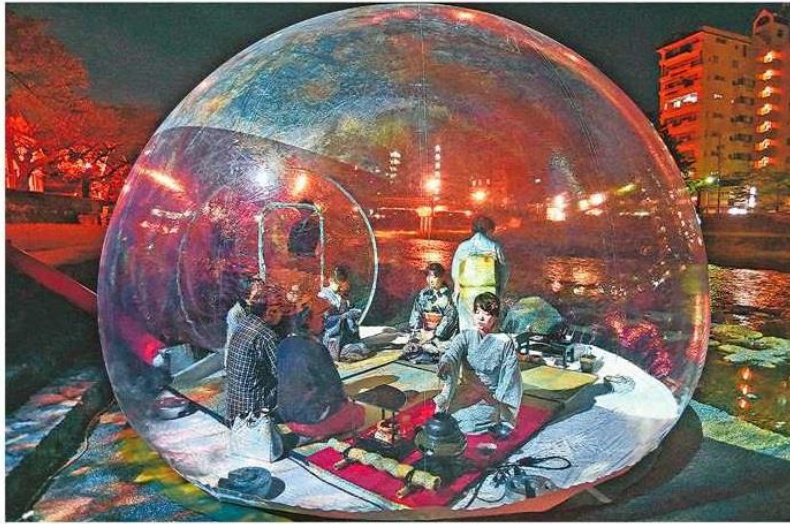


対象	小学校高学年以上
教科	社会科・総合学習
該当 単元	小学6年 「今に伝わる 室町文化」 ・室町文化と現在 とのつながり
教科書	東京書籍等
掲載日	2016.10.16.北陸中日朝刊12版1面



ドーム型の茶室の中でお茶を楽しむ人たちは15日夜、金沢市東山1の浅野川河川敷で（木戸佑撮影）

「小宇宙」で一服 金沢みらい茶会

伝統と現代アートを融合させた「金沢みらい茶会」が十五日、金沢市内で始まった。同市東山一の浅野川の河川敷では、泡をイメージした大型のビニール製ド

ームの茶室が夕暮れ時に出現。映像の明かりを元に来場者は小宇宙のような幻想的空間で茶を楽しんだ。この茶会のテーマは「流れる」。一期一会の出会いを水の流れに見立て、四畳半の畳を敷いた室内を、市内の犀川や水路の水面を映した映像で照らし出した。コイが泳いだり花びらが水

面を流れる様子が映されると、参加者は楽しそうに映像を見つめていた。同市太陽ヶ丘のギャラリー「店主本山陽子さん（@いちは）は「自分が川に浮かんでいるような気分。一般的な茶室は閉ざされた静寂な空間だ

けど、景色を三六〇度眺められて開放感も味わえる」と満足そうだった。十六日は、国の登録有形文化財の「石黒商店」（同市十間町）など六カ所で茶会が開かれる。（太田理英子）

問1：見出しで「小宇宙」と表現されているのは
 どのような場所でなぜそう表現したのでしょう
 （ ）の河川敷^{かせんしき}に出現した、大型
 の（ ）の茶室
 であり、そこが映像の明かりをもとにした
 （ ）な空間だから。

問2：ドームにはどんな映像が映されたのでしょ
 う。

発展①：ドーム型の茶室で行われている茶会。こうした茶会の席での作法などは、
 何時代に始まりましたか。（ ）時代

発展②：文中に出てくる「一期一会^{いちごいちえ}」という四字熟語は、実は「茶の湯」から生まれた
 言葉です。意味を調べてみましょう。
 （ ）

【活用にあたって】

この単元では銀閣・金閣を中心に室町時代に生まれた文化について学習します。そしてその多くが現代まで続き、日本を象徴する文化の一つになっていることを確認します。

伝統ある文化は、格式なども重視される反面、新しい試みも行われ、さらなる発展をとげています。

この記事はまさにそれを象徴するかのような記事です。まず写真に驚き、興味をもって読むことでしょう。発展問題①の答えは記事には出て来ませんが、6年生の1学期に学習しているので、復習の意味で出題してみました。

さらに、茶の湯から生まれた「一期一会」という言葉を意図的に使っている点に注目すると、言葉への理解も深まり学びに広がりが見られると思います。

解答例

問 1 : 浅野川・ビニール製ドーム型・幻想的

問 2 : (金沢)市内の犀川さいかわや水路の水面を映し、コイが泳いだり花びらが水面を流れたりする様子

発展① : 室町

発展② : いつでも、どんな時も相手と同じであっても「一生に一度しかない出会い」ととらえて、出会いを大切にすること。